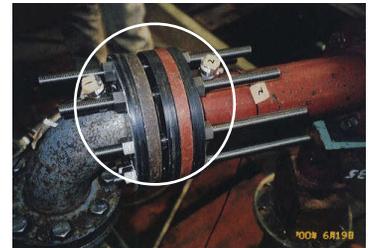


防振パッキング

水道管、排水管などは、ポンプや管内を通る流体などで作られる振動などが配管を伝わり固定しているところへ振動を運んで行き配管止め付近で騒音の原因を作り出している。こういったことを改善するには、ポンプなどの振動源との接続部にラスクをレジンで包んでパッキングの形状にしたもの(図1)を挟み込みボルトで配管内の流体が漏れないようにしっかり締めこむことでパッキングとしての役目と片方に振動が伝わってきてもラスクのパッキングで振動を吸収し接続されている片側の配管に大きな振動は伝わらなくなる(図2)。配管によって振動を配ることが無くなり配管を固定している配管止め付近での騒音は解消できる。

図3は、通常のゴムパッキングとラスク防振パッキングとの振動の伝わり方の測定結果を比較したものです。



従来のゴムパッキング

ラスク防振パッキング

図1 ラスク防振パッキング

図2 ラスク防振パッキングの取り付け(ポンプ)

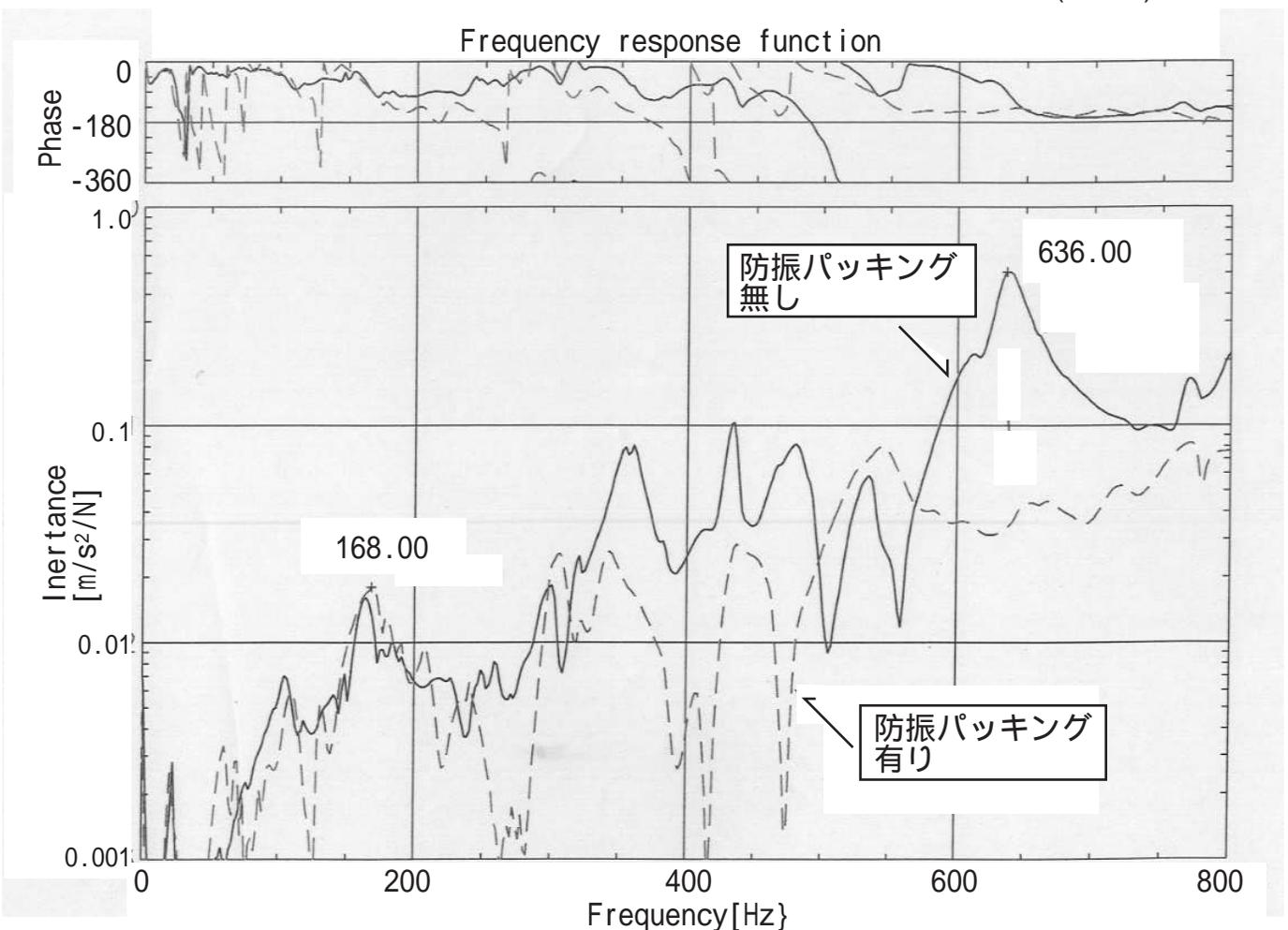


図3 防振パッキングと従来のゴムパッキングの比較